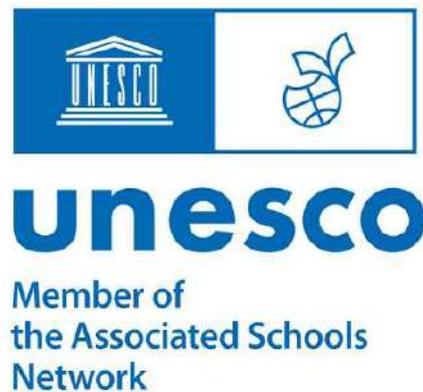


教育課程実践検証協力校ESD（国立教育政策研究所）  
AI教材活用推進校（教育庁指導部高校教育改革）  
生成AI研究校（教育庁総務部情報企画）

玉川大学（ユネスコスクール支援大学）  
東京家政学院大学（高大連携指定校）  
桜美林大学（高大連携指定校）



学校HP



YAMASAKI\_0610



東京都立

山崎高等学校

# 教育目標



ユネスコスクールとしてESD<sup>※1</sup>の推進拠点となる持続可能な教育実践に取り組み、自らの行動に自信をつけさせ自己肯定感を高める教育活動を通して、生徒一人一人が変化する社会に柔軟に対応する力<sup>※2</sup>を培い、共に挑戦し学び続ける心身の構えが身に付いた生徒を育成する。

生徒の心身の安全と秩序の維持を最優先した教育活動を通して、互いの人権を尊重し（敬愛）、協力し合いながら（協働）、生徒一人一人が将来の夢や希望をかなえるために、自分の弱さを克服し（克己）、志を高めて自ら学びに向かおうとする姿勢を養い（高志）、18歳成年年齢を踏まえた立ち居振る舞いができる主権者を育成する。

※1 持続可能な開発に向けた教育の略称（Education for Sustainable Development：ESD）  
※2 知識・技能・思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力

# スクール・ポリシー



## 《アドミッション・ポリシー》

本校はユネスコスクールとしてESDに取り組み、「18歳成年年齢に相応しい主権者の育成」をスローガンとして、探究学習と委員会活動を重視し、全ての教育活動を通して、4つの校訓である克己・高志・敬愛・協働を身に付ける高い意欲をもった生徒の入学を期待します。

- 1 法律、規則、ルールの厳守やマナーや身だしなみ等の立ち居振る舞いを大切に、規律ある行動ができる生徒
- 2 探究学習や委員会活動等、学校生活を中心に過ごす意欲の強い生徒
- 3 委員会活動や学校行事等、帰属意識をもって、自分たち事として自ら進んで活動できる生徒
- 4 地域交流やボランティア活動等に積極的に参加し、リーダーシップのある生徒
- 5 国際社会に積極的に参加しようとする意欲のある生徒

\*特に推薦選抜においては、上記に加え、次の項目を重要視します。

コミュニケーション能力に優れ、物事の本質を考え、判断し、表現できる生徒

## 《カリキュラム・ポリシー》

教科主任を中心とした教科会と担任団の連携により、生徒の適性に応じたきめ細かい学習指導を行い、ゼロ時間目や習熟度別授業、習熟度別クラス、選択授業、長期休業期間等の補習・講習等を通して、基礎学力及び応用力を身に付けさせる。

教科主任会を活用し、ICT機器やアクティブ・ラーニングの手法（平成30・31年度推進校）を活用し、教師が生徒に教え込む授業ではなく、生徒同士が学び合う時間や振り返る時間を重視して「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。また、教科・科目ごとにシラバス（年間指導計画）を生徒に明示して、生徒が主体的に計画し、学習到達度を把握させるとともに、生徒自らが授業規律の厳守と学力向上が図れるようにさせる。

## 《グラデュエーション・ポリシー》

- ・生徒一人一人が将来の夢や希望をかなえるために「基礎知識」「基本的生活習慣」の育成をめざす
- ・生徒一人一人が将来の夢や希望をかなえるために「創造力」「表現力」「課題発見力」の育成をめざす
- ・生徒一人一人が将来の夢や希望をかなえるために「社会性」「主体性」「実行力」の育成をめざす

# 個別最適な学び



## 習熟度別クラスの設置

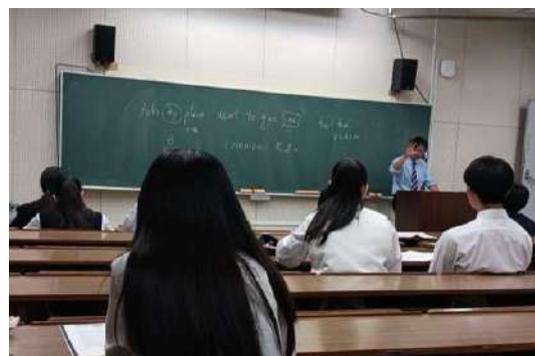
個別最適な学びと協働的な学びを活性化させ、意欲の高い生徒の向学心を高めさせて、全生徒の意欲の向上を図ります。

## ゼロ時間目の実施

生徒がさらに学力を伸ばし、進路実現を果たしていけるよう、意欲の高い生徒の更なる伸長を図るための講習（ゼロ時間目）を実施します。

## 一人一台端末の活用

すべての授業や課題提出をペーパーレスで行うために「MetaMoji Classroom」というノートアプリを導入しています。このノートアプリにより、授業で使用するプリント類は、データで配布することでプリントの紛失や忘れ物はなくなります。また課題もデータで提出でき、授業中もコンピュータ画面を通して、教員が生徒一人一人やグループごとに対応することが可能になっています。



# ユネスコスクールとしての取り組み



ユネスコスクールとは、ユネスコの理念を学校現場で実践するために国際的なネットワークを持つ学校のことです。本校は、令和4年11月に都立高校では4校目のユネスコスクールに認定されました。

今年度は、ユネスコスクールとして、コンソーシアム会議メンバーや外部探究支援員の方々からのアドバイス等を頂きながら、「総合的な探究の時間」に取り組みます。全学年で地球規模的課題である環境問題や地域課題の探究活動を行っています。また、すべての教科・科目と学校行事等に織り交ぜたESDの推進やユネスコスクール加盟校間の交流にも取り組んでいます。

ユネスコスクールとしての取り組みの実績

令和3年6月	ユネスコスクールキャンディデイト校に認定
令和4年11月	ユネスコスクールに認定
令和4年度・令和5年度	海外学校間交流推進校に指定（東京都教育委員会）
令和5年度	「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」助成校に認定
令和5年12月8日	令和5年度探究フォーラムの実践発表（東京都教育委員会主催）
令和6年1月20日	第15回ユネスコスクール全国大会 午前パネルディスカッション登壇（高等学校代表）・ポスター発表
令和6年度	「第15期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」助成校に認定

第15回ユネスコ  
スクール全国大会  
報告書こちらから↓



## 協働的な学び



### 「総合的な探究の時間」における探究活動

町田市山崎町に焦点を当てた探究学習に取り組み、2学年では12月に「山崎サミット」を開催する等、関係機関や地域住民と意見交換をしながらESDの充実化を図ります。



## GreenDay

地球規模的課題である環境問題に学校全体で取り組んでいます。



## 国際理解教育

ユネスコスクール間での海外学校との交流

令和3年 10月～	ロシア ヴォルゴグラード Volgograd#9
令和5年 1月～	韓国 居昌 Geochang High School
令和5年 6月～	イギリス ロンドン ICS London

## ESDの推進

ESDをすべての教科・科目と学校行事等に織り交ぜて「主体的・対話的で深い学び」の実現と探究能力の向上を図ります。



進路状況は  
こちらから



# 部活動・委員会



## 部活動

令和6年度入学者選抜から、文化・スポーツ等特別推薦としてアーチェリー部の特別推薦枠を設けています。



## 委員会

生徒委員会活動を重視し、自主自立の精神やリーダーシップを育成し、人間力の向上を図ります。



# 制服



夏服・冬服期間の指定なし  
ポロシャツは希望購入可  
ネクタイ・リボンはオプション可



# 学校説明会 アクセスのご案内

実施日：令和6年10月26日（土）  
令和6年11月9日（土）  
令和6年12月7日（土）  
令和6年12月14日（土）



参加予約

内容：学校紹介  
令和7年度入学者選抜説明

アクセス：町田駅（JR横浜線・小田急線）  
古淵駅（JR横浜線）からバス  
山崎高校入口（下山崎行）  
北二号（山崎団地行）にて下車



※数字は本校への所要時間です。  
※バスは、神奈川県中央交通の所要時間を参考にしています。  
道路状況によって、遅延する場合があります。余裕をもって、通学してください。

〒195-0074 東京都町田市山崎町1453-1  
電話：042-792-2891 FAX：042-794-0440  
HP：https://www.metro.ed.jp/yamasaki-h/

